



かんだき通信



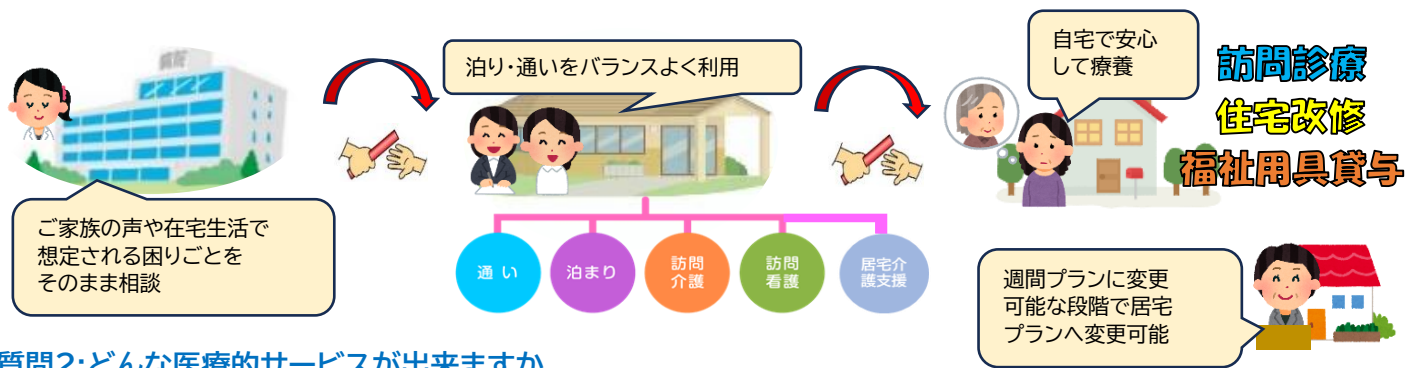
2023年12月号

いつも看護小規模多機能型サービスへご相談いただきありがとうございます。
看護小規模多機能では、お客様のありたい姿、家族の介護力など様々なアセスメント情報を基にプランを提案していますが、お客様の状態やご家族の様子に合わせ「**中間施設**」としての役割も担っています。

質問1:「中間施設」としての役割ってどんなこと



病院からの退院にあたり、在宅での療養・介護に不安を感じるご家族は多いかと思えます。
看護小規模多機能ではご家族が安心して在宅での療養・介護にあたれるよう、様々なプランを提案しています。
その中には病院から看護小規模に移られる際「泊り・通い」等を利用しつつご家族へ**医療的**な手技や**オムツ交換**等の介護を家族と一緒に行いつつ、自宅の生活に戻られる事例や、その後、療養・介護が安定して出来るようになった段階で居宅のケアマネジャーにプランを戻す等、中間施設としての役割も担っています。



質問2:どんな医療的サービスが出来ますか

訪問看護や「通い」での看護サービスで行う一例を右に記載します。

こちらを実施すると共に、**家族への手技指導**も行います。

在宅酸素の手配や**訪問診療の先生紹介**、**住宅改修の手配**等も含め看護小規模にご依頼いただければ実施可能です。

	困りごと	対応(主治医の指示のもと実施いたします)
・ストマ ・バルーンカテーテル ・胃ろう ・点滴	①認知症等により、ご自身で外されてしまう ②ご家族が手技や管理に不安がある	必要な時、管理・観察・手技の指導が可能
・バルーンカテーテル	①尿が詰まりやすく毎週の交換、膀胱洗浄が必要 ②ご家族の毎週の受診は困難	バルーンの管理・交換・膀胱洗浄が 通いサービス中 に可能
・在宅酸素	酸素飽和度を測り、状態によって流量変更が必要	看護師が酸素の流量変更、ポンペの交換を実施
・気管切開	患部の消毒や固定確認が必要	訪問や通い にて看護師が消毒や固定確認を行い、異常があれば 主治医への連携 を実施
・排便コントロール	定期的な排便がなく、排便コントロールが必要	看護師による摘便、浣腸、服薬の調整
・褥瘡	褥瘡がしやすい	状態観察を行い、医師と連携の上処置を実施
・インスリン	①自身で血糖測定やインスリン注射が出来ない ②血糖値が不安定な状況	血糖測定、インスリン注射、 随時手技の指導 の実施
・脱水症状	独居にて水分摂取管理、室温管理が出来ない	安否確認訪問時の室温調整と、異変時に 通いへの切り替え
・看取り	最期まで自宅で自分らしく過ごしたい	必要時、三者会議実施の上、 ターミナルケア が可能
・神経難病	①無動や多動があり、行動観察が必要 ②定期的な薬の服薬ができない	服薬管理と共に、状態を観察し主治医との連携が可能

ですので…看護小規模多機能は、必要な時に利用できる「**便利なサービス**」なのです！！

いつでもお気軽にご相談ください！



ご挨拶

今年も残すところわずかとなりました。今年も色々なことがありました。どんな時も地域の困りごとに関心をもち目を向けて進んで参ります。何時でもご相談ください！

看護小規模多機能

ふくしのまち上尾

☎ 048-725-6662

担当：金田（所長） 矢島（CM）